

学習指導課短信

1 教育課程研究協議会

令和7年8月1日（金）に教育課程研究協議会数学部会を昨年度に引き続き参集型で開催いたしました。

本年度の協議会では、「学習指導要領の着実な実施へ向けた授業改善の視点」と題して、行政説明を行いました。行政説明では、資料が詳しく参考になったという意見がある一方で、参考となる事例など、具体的な提示があるとよいという意見もいただいております。来年度以降の実施へ向けて参考にしたいと思っております。

また、「生徒が興味・関心を持つためのICTを活用した授業実践」と題して、県立我孫子東高等学校の後藤優太郎先生が教科研究員として研究発表を行いました。「先生の実践例は親近感があり、授業改善をしようとする気概を感じることができ参考になりました」「本校でも実施できそうな内容が多く含まれていたので大変有意義でした」、「数学を苦手とする生徒に対するきっかけとして、とても参考になりました」など、とても有意義な発表だと感じた参加者が多かったようです。公務御多用の中、発表いただきありがとうございます。

グループ協議では、『『日常の事象や社会の事象などを数理的に捉え、数学的に表現・処理して問題を解決し、解決の過程や結果を振り返って考察する活動』の具体的事例について』や「各学校における1人1台端末の活用事例や今後取り組みたいこと等について」等をテーマに、グループ別に協議を行いました。各グループの記録につきましては、各学校の管理職の先生（私立学校の場合は学事課）を通じて配付いたしました。御確認の上、参考になれば幸いです。

2 高等学校訪問

学習指導要領の着実な実施に向けて、学習指導の改善及び適切な学習評価の実施と学校運営上の課題解決のための支援を行うことを目的として、学習指導課では、令和4年度から令和6年度までの3年間で、千葉県内の全ての県立高等学校への訪問を行いました。

令和7年度は、要請のあった県立高等学校を中心に、訪問を行っております。初任者研修や中堅教諭等資質向上研修の指導・助言者など、可能な範囲で個別に対応しております。御希望の場合は、管理職を通じて、学習指導課まで御連絡ください。

3 教科研究員（令和7・8年度）

令和6・7年度及び令和7・8年度の数学科教科研究員を、次の方々をお願いしております。教科研究員の先生方には、2年間かけて数学科における指導の内容や方法について実践的かつ具体的な研究を行い、その成果を報告書としてまとめていただくことになります。共通テーマは、『『令和の日本型学校教育』の構築を目指した個別最適な学びと、協働的な学びの実現』になります。

（令和7・8年度）

西村 優希 （千葉南高等学校）
佐藤 里保 （印旛明誠高等学校）
高橋 一栄 （木更津東高等学校）

（令和6・7年度）

小林 大介 （八千代高等学校）
鈴木 健太 （四街道高等学校）
杉村 秀人 （船橋東高等学校）

過去の報告書は千葉県学習共有ポータルにアップされております。授業改善の貴重な資料として、ぜひ御活用ください。

県教育庁教育振興部学習指導課
指導主事 菅根 彰宏